



学校だより

12月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



「一生懸命がかっこいい」を目指して

校長 西山 久美子

11月12日、気持ちのよい青空のもと今年の運動会を実施することができました。今年の運動会は感染症対策のため実施方法や内容を精選しての開催となり、保護者の皆様にはご参観いただくにあたりご不便をおかけすることが多くありましたが、温かいご協力をいただき誠にありがとうございました。また、PTA 役員の皆様には様々な場面でご尽力いただきましたこと感謝申し上げます。皆様のおかげで全校児童が一堂に会し、互いに応援し合える温かい運動会になりました。

運動会での子どもたちは、練習の成果を堂々と発揮し、一人ひとりが真剣にそして充実した表情で演技などに取り組みました。「HELLO!HALO!」のはじける笑顔、「エイサー」のきりっと引き締まった表情、「ソーラン節」の力強い動き、徒競走やリレーでの真剣な顔・・・子どもたちの一生懸命な姿に何度も熱いものがこみ上げてきました。全学年ともに、すべてにおいて「一生懸命がかっこいい」を見せた星の子たちでした。

ところで、運動会当日の「かっこいい姿」であるためには、当日に向けた取組が大きく影響しています。演技の練習は2学年合同で行いました。そこでは「演技の動き」を高めていくことはもちろんですが、同時に異学年とのかかわりを大切にして指導してきました。上の学年の子どもたちは模範を見せながら、こつを丁寧に教えたり励ましたりして、相手のことを考えた声かけをします。下の学年の子どもたちは、そのような上の学年にあこがれの気持ちを持ち、来年は自分たちも同じようがんばろうという意識が生まれます。前日のリハーサル後の“振り返りの時間”では、それまでの練習のがんばりや互いのよさを認め合い、翌日の運動会に全力を出そうという思いを高めていました。スローガンにある「心を一つに」となった姿を見て、運動会までの約1か月の取組が子ども達を大きく成長させたのだと確信した時間でした。

さらに運動会の翌週、教室や廊下には子どもたちの感想や他学年からのメッセージが掲示されていました。そこには「かっこよかったです。」「がんばったね。」「来年は自分たちがリードする。」「ありがとう。」など子どもたちの素直な気持ちがたくさん記されています。ペア学年への温かい励ましの言葉や、一緒に練習に取り組んだ相手への感謝の言葉には、運動会を通して一回り大きくなった子どもたちの姿が表れ、とても誇らしく思いました。



いよいよ12月。いろいろな場面で星の子たちの一生懸命取り組むかっこいい姿が見られるよう、教職員一同さらに力を尽くしてまいります。保護者・地域の皆様には今後ともお力添えをいただけますようお願い申し上げます。